

生成 AI について、長期休業中の課題等における注意点

生成 AI は、膨大な量の情報を学習した上で、利用者の指示(プロンプト)に対して、統計的にそれらしい応答を生成するサービスです。このような新しい技術を、社会がより良くなるように活用できないか、世界中で検討が進められています。

このような中では、生成 AI のような新しい技術がどのような仕組みで動いているかを知り、使いこなすための力を身に付けることが必要です。

しかし、生成 AI は発展途上にあり、個人情報等の流出、著作権侵害のリスク、偽情報の拡散、思考力や創造性、学習意欲への影響など、様々な懸念も指摘されています。

したがって、生徒の皆さんが長期休業中に家庭等で生成 AI を使おうとする場合には、以下の点に注意しましょう。

① 生成 AI ツールの利用規約を確認し遵守しましょう。

- ・ ChatGPT (Open AI 社) 13 歳以上、18 歳未満の場合は保護者同意が必要です。
- ・ Bing Chat (Microsoft 社) 成年であること、未成年の場合は保護者同意が必要です。
- ・ Bard (Google 社) 18 歳以上であることが必要です。

② 生成 AI で作ったものをそのまま自己の成果物とすることは、望ましくありません。次のことに気をつけましょう。

- ・ AI の利用を想定していないコンクールの作品やレポートなどを生成 AI で作成し、そのまま自己の成果物として応募・提出することは、評価基準や応募規約によっては不適切又は不正な行為に当たります。
- ・ 安易に AI を使うことは、課題活動を通した学びが得られず、自分のためにもなりません。

③ 生成 AI を正しく活用するには、その性質やメリット・デメリットを知り、情報の真偽を確かめましょう。

- ・ 課題等の過程で、自分ひとりでは気付かなかった視点を見つけ、理解を深めるきっかけとして生成 AI を活用する、といった場面も考えられますが、もっともらしく見えても、不正確または無意味な回答が作成されるなどといった問題点もあります。生成 AI に限らず、インターネットを活用して物事を調べる際は、事実関係に誤りがないか多様な方向から確認する習慣を身に付けることが必要です。(ファクトチェック)
- ・ AI を利用した成果物には AI を利用した旨や AI からの引用をしている旨を明示するようにしましょう。

④ 生成 AI に入力した個人情報等が、生成 AI の機械学習に利用されることがあり、生成 AI から別の人に対する回答として出力されるリスクがあります。次のことをしっかりと守りましょう。

- ・ 生成 AI に入力する指示文(プロンプト)に個人情報等を入力しない。
- ・ AI が生成した回答に個人情報等が含まれている場合は、その回答の利用を控える。
- ・ アカウント設定の際に、入力した指示文が学習に利用されない設定とする。

⑤ 著作権の侵害につながる使い方をしないようにしましょう。

- ・ 他人の著作物を利用する場合は、原則として著作権者の許諾が必要です。
- ・ AI を利用した成果物が、他人の著作物と同様である場合や類似性などがある場合は、意図していなくても著作権侵害となる可能性があります。

生成 AI について、長期休業中の課題等における注意点

生成 AI は、膨大な量の情報を学習した上で、利用者の指示(プロンプト)に対して、統計的にそれらしい応答を生成するサービスです。このような新しい技術を、社会がより良くなるように活用できないか、世界中で検討が進められています。

このような中では、生成 AI のような新しい技術がどのような仕組みで動いているかを知り、使いこなすための力を身に付けることが必要です。

しかし、生成 AI は発展途上にあり、個人情報等の流出、著作権侵害のリスク、偽情報の拡散、思考力や創造性、学習意欲への影響など、様々な懸念も指摘されています。

したがって、生徒の皆さんが長期休業中に家庭等で生成 AI を使おうとする場合には、以下の点に注意しましょう。

① 生成 AI ツールの利用規約を確認し遵守しましょう。

- ・ ChatGPT (Open AI 社) 13 歳以上、18 歳未満の場合は保護者同意が必要です。
- ・ Bing Chat (Microsoft 社) 成年であること、未成年の場合は保護者同意が必要です。
- ・ Bard (Google 社) 18 歳以上であることが必要です。

② 生成 AI で作ったものをそのまま自己の成果物とすることは、望ましくありません。次のことに気をつけましょう。

- ・ AI の利用を想定していないコンクールの作品やレポートなどを生成 AI で作成し、そのまま自己の成果物として応募・提出することは、評価基準や応募規約によっては不適切又は不正な行為に当たります。
- ・ 安易に AI を使うことは、課題活動を通した学びが得られず、自分のためにもなりません。

③ 生成 AI を正しく活用するには、その性質やメリット・デメリットを知り、情報の真偽を確かめましょう。

- ・ 課題等の過程で、自分ひとりでは気付けなかった視点を見つけ、理解を深めるきっかけとして生成 AI を活用する、といった場面も考えられますが、もっともらしく見えても、不正確または無意味な回答が作成されるなどといった問題点もあります。生成 AI に限らず、インターネットを活用して物事を調べる際は、事実関係に誤りがないか多様な方向から確認する習慣を身に付けることが必要です。(ファクトチェック)
- ・ AI を利用した成果物には AI を利用した旨や AI からの引用をしている旨を明示するようにしましょう。

④ 生成 AI に入力した個人情報等が、生成 AI の機械学習に利用されることがあり、生成 AI から別の人に対する回答として出力されるリスクがあります。次のことをしっかりと守りましょう。

- ・ 生成 AI に入力する指示文(プロンプト)に個人情報等を入力しない。
- ・ AI が生成した回答に個人情報等が含まれている場合は、その回答の利用を控える。
- ・ アカウント設定の際に、入力した指示文が学習に利用されない設定とする。

⑤ 著作権の侵害につながる使い方をしないようにしましょう。

- ・ 他人の著作物を利用する場合は、原則として著作権者の許諾が必要です。
- ・ AI を利用した成果物が、他人の著作物と同様である場合や類似性などがある場合は、意図していなくても著作権侵害となる可能性があります。

せいせいエーアイ 生成 A I について、夏休みの宿題で気を付けること

「ChatGPT」などの生成 A I については、ニュースなどでも話題となっているように、世界中でその利用について議論や研究が行われています。その中では、生成 A I の利用について、様々な心配も指摘されています。



特に、読書感想文や日記、レポートといった夏休みの宿題に取り組む際、生成 A I を使うことを思いつく人もいるでしょう。その前に、気を付けることを考えておきましょう。

□ 利用のルールを守ろう

小学生は、学校でも家庭でも、ほとんどの場合生成 A I を使うことができない利用規約（ルール）になっています。

一部の生成 A I は、保護者の同意があれば利用できることもありますが、小学生という発達の段階を考えると、慎重に対応する必要があります。



主な生成 A I の利用規約

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ChatGPT (Open A I 社) Bing Chat (Microsoft 社) Bard (Google 社) | <ul style="list-style-type: none"> 13歳以上、18歳未満は保護者の同意が必要 成年(18歳以上)、未成年は保護者の同意が必要 18歳以上 |
|--|---|

□ 自分のためになるか考えよう

感想文などを生成 A I で作り、そのまま自分のものとしてコンクールなどに応募や提出をすると、「不適切」または「不正」な(よくない)こととなる場合があります(これは生成 A I だけでなく、他の人が作ったものをまねするのでも同じです)。

そもそも、ただ生成 A I に頼るだけでは、「学び」は得られません。「宿題は自分のため。」それを大切に取り組みましょう。

